



長尾和宏 (なかお・かずひろ) 医学博士。大阪大第2内科入局。1995年、大阪大長尾クリニックを開業。外来診療を主とし、在宅医療も目指す。著「痛くない死に方」は、関西国際大学各名教授。

神奈川県茅ヶ崎市の服部信明市長が、今月4日に脳出血のため死去しました。57歳でした。前日3日午後6時から、市内で開催されたロータリークラブの例会に出席、講話をされました。講話が終わり質疑応答していたところ、7時半ごろから呂律(ろれつ)が回らなくなり、その場でしゃがみこんでしまったそうです。異変に気づいた関係者がすぐに救急車を呼び、市内の病院に搬送されましたが、意識は戻ることなく翌朝に旅立ってしまいました。働き盛りの男性の突然死です。

75 神奈川県茅ヶ崎市長 服部信明

57歳働き盛りの突然死



神奈川県茅ヶ崎市長選で当選が決まり、支援者から花束を受け取る服部信明氏。平成27年4月26日、同市

脳出血の症状は、出血した場所によって違いますが、一般的に激しい頭痛や吐き気、片側の口角や手足のしびれ、物が二重に見えたり視野が欠ける、呂律が回らなくなる、思ったことが言葉に出なくなるなど。こんな症状が急に出た時にはためらわず救急車を呼んで下さい。

出血が軽い場合は回復しますが、脳の中心部や出血量が多ければ死に至ることもあります。統計によれば、血圧の変動が激しい朝と夕方にかけて起こりやすいことがわかっています。脳出血の最大の危険因子は高血圧です。高血圧で動脈硬化が進み、血管が破けやすくなります。服部

市長も高血圧の投薬治療をしていたとの報道がありました。血圧を適切にコントロールすることが脳出血の予防となります。そこで気を付けたいのは、まず食事。塩分の高いものを避け、野菜多めのメニューを心掛けてください。そして、有酸素運動であるウォーキングを毎日30分程度続けること。時間があれば、通勤時に1駅分歩くことをお勧めします。

生まれも育ちも茅ヶ崎の服部市長は2003年4月に初当選、今が4期目で、総仕上げの時期と気合が入っていたとされています。超多忙な日々であったとお察しします。地元が生んだ大スター、サザンオールスターズのファンで、5年前の茅ヶ崎ライブではステージに登場し桑田さんに記念碑を授与。今月27日には、デビュー40周年記念の「茅ヶ崎サザン芸術花火」に出席の予定でした。きっと空から見守ってくれていることでしょう。